**学術越境プログラム　Phase1 支援プログラム　申請書（様式）**

**１. 申請者情報**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | | |
| 学生番号 | 6 0 3 0 – – | | |
| 学年 | 修士課程　　　　　回生 | 講座名 | 講座 |
| 指導教員名 |  | e-mail |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

□ 指導学生による本プログラムへの申請について、承諾しました。

（指導教員署名）

**２. 申請内容**

各事項の字数制限はありませんが、全体で３頁以内に収めてください。必要に応じて図を用いても結構です。専門分野外の教員も審査を行います。専門用語の使用は避けるか、必ず説明を加えてください。様式の変更・追加は不可。

**(１) 現在の研究の内容**

あなたが現在実施している、もしくは計画や準備を進めている研究について、着想に至った経緯や動機、当該分野における研究の位置付け含めて、研究の目的や内容を分かりやすく記入してください。

**(２) 修士課程入学時からこれまでの学習・研究内容と学術越境との関連**

修士課程入学以降、あなたがこれまでに特定の講義（例：学術越境研究計画1）や所属するゼミでの活動等を通して学んだり、吸収したことを述べてください。またそれらで学んだことを、学術越境の観点からPhase１とどのように紐づけられそうか、もしくはどのような点で関連するのか、記入してください。

**(３) 学術越境研究への展開**

(1)で記入したあなたの現在の研究は、分野連携教育研究や産学連携教育研究、国際連携教育研究などの学術越境研究へと、どのように展開できると考えられるか。現在の研究を基に発想を広げて、自由に記入してください。

**(４) 学術越境研究のための準備活動**

現在の研究を、(3)で記入した学術越境研究へ展開するために、どのような準備活動が必要か。予算が必要ない活動も含めて、具体的に記入してください。

**(５) 予算の使途とその必要性**

(4)で記入した学術越境研究のための準備活動に関して、予算使途の計画とその必要性を、以下の①と②の項目ごとに記入してください。自由な発想に基づきつつも、具体的に計画された予算使途を重視します。予算は計30万円以内を目安としますが、超過する場合にはその理由を記載してください。

① 予算の使途と金額、予算の使用時期を以下の表に記入してください。必要に応じて表を追加してください。予算の使用時期は、修士課程１回後期または修士課程２回前期後期が対象です。

② ①の予算を使用する必要性について、(4)で記入した学術越境研究のための準備活動との関係性を明確にして記入してください。必要な予算が計30万円を超過する場合は、この欄に理由を記載してください。

[①予算の使途と金額、使用時期〕

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 使途 | 金額(円） | 使用時期 |
| 例 | 〇〇 | 15,000 | 令和5年度後期 |
| １ |  |  |  |
| ２ |  |  |  |
| ３ |  |  |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計　　　　　円

〔②予算使用の必要性〕